

「ふるさとを愛し、仲間と共に未来を切り拓き たくましく生き抜く児童生徒」の育成を目指して ～義務教育学校「本巢市立根尾学園」開校1年目の取組～

本巢市教育委員会 学校教育課

1 はじめに

今年度、旧根尾小学校・旧根尾中学校を統合し、義務教育学校「本巢市立根尾学園」が新たに開校しました。平成30年の第1回設立委員会から3年以上にわたる準備期間に、子どもたち、教師、保護者、地域の方々、教育委員会など根尾に関わる多くの人々が携わり、制服・校章や校歌、そして行事に至るまでいろいろな視点で意見やアイデアを出し合い、丁寧に進めてきました。設立委員会やワークショップを何度もくり返す中で、様々な人々の熱い思いや願い・理想が結集してできた学校です。



本巢市教育委員会では、学校の教育目標である「ふるさとを愛し、仲間と共に未来を切り拓きたくましく生き抜く児童生徒～自立・共生・創造～」の具現に向け、特色ある学習過程や指導体制を整えたり、具体的な取組を提案したりするなど、学園とともに考え、歩んでいます。

2 3つのチーム制による指導体制

9年間で一人一人の子どもたちの成長を見届けるメリットを最大限に生かし、以下の様々なチームを機能させながら、全職員で一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導・援助を実現します。

① 初中高等部チーム

② 学年別チーム

③ 全校縦割りチーム

初中高等部チーム (初等部、中等部、高等部の4・2・3制)
「自信」「誇り」「輝き」を
初等部・中等部・高等部それぞれ1つのまとまりになり、互いに知恵を出し合っ
て、児童生徒会活動の企画・運営を一緒に進めます。

自信・誇り・輝き

初中高等部主任会
○教員主任
○初中高等部主任

初等部
1・2・3・4年生
★初等部主任
○1・2年生担任・副担任
○3・4年生担任・副担任
○特別支援学級担任

中等部
5・6年生
★中等部主任
○5・6年生担任・副担任

高等部
7・8・9年生
★高等部主任
○7年生担任・副担任
○8年生担任・副担任
○9年生担任・副担任
○特別支援学級担任

全校縦割りチーム (異年齢集団)
「思いやり」「リーダー性」を
9年生をリーダーとする3つの縦割りチーム。
毎日のうすずみタイム、清掃活動、給食、い
ぶきのほか、行事の取組や委員会活動なども
縦割りチームで行います。

	さくら チーム	ねおがわ チーム	のうごう チーム
指導教師	○担任1 ○副担任4	○担任1 ○副担任5	○担任1 ○副担任4
9年生	2人	2人	1人
8年生	2人	1人	2人
7年生	1人	2人	2人
5・6年生	3人	3人	3人
3・4年生	3人	3人	3人
1・2年生	4人	3人	3人
合計	15人	14人	14人

※各学年の人数は、平均的な児童生徒数を例示しています。

縦割りチーム担任会
○生徒指導主事
○3チームの担任

学年別チーム (同年齢のこれまでの学級) 「確かな学力」を
各学級(1・2年、3・4年、5・6年、7年、8年、9年)に担任が1人・副担任1人

教科担任制 1年～ 音楽・体育・図画工作
教科担任制 3年～ 外国語活動・算数・理科
教科担任制 5年～ 十原則全教科
教科の授業は学年別を原則とします。

特に1年生から9年生の児童生徒で構成した「全校縦割りチーム」を学校の柱として大切にしながら活動や生活を進めています。この「全校縦割りチーム」の活動は、給食や清掃活動など身近なことから、伝統であるオカリナの活動や運動遊びなど多岐に渡っています。また、生徒たちから「全校縦割りチーム対抗スポーツフェスティバル」の提案があり、それを企画・実践しました。こうした活動を通して、リーダーとしての自覚や思いやりの心が育まれるとともに、多くの仲間や教師との関わりができることで児童生徒の居場所が増え、児童生徒が安心して過ごすことにつながっています。

3 特色ある教育

(1) 確かな学力の定着を図る全学年教科担任制

より専門的な教科指導による確かな学力の定着を図ります。1・2年の音楽・体育・図画工作の芸術教科から始まり、5年生ではほぼ完全に教科担任制となります。教師も、教科担任としてすべての子どもと関わり続けることが可能となり、9年後の姿を見据えた個別最適な学びを実現できます。

(2) 一人一人が輝き、誇りがもてる学びとくらし～児童生徒の「学びたい思い」を伸ばす～

予測不可能な未来に対して、社会や地域、自分の未来を切り拓くために粘り強く学び続ける力を身に付けるための多彩なカリキュラムを編成しています。

①自分の可能性に気付き、自分を磨き高める「かがやき科」



自分でテーマを決め、課題を設定し、徹底的に追究する中で、自分の可能性に気付き、夢や目標を描いて、自分を磨き高める新しい教科「かがやき科」を実施しています。子ども1人に教員が1人つき、学びを支える伴走者・共同探究者として指導・支援をしています。また、探求する中で、「本物に触れる」体験が重要であると捉え、外部講師をコーディネートし、対面もしくはオンラインで実施できるようにしました。今年度、防災士としてふるさと根尾を災害から守る学びを進める生徒や、ミドリムシの可能性を広げ人類に役立てようとする生徒等があり、オリンピック陸上 800 mに出場という夢をもっている8年生の生徒は、陸上プロランニングコーチである金哲彦さんから直接アドバイスをもらうことができました。「かがやき科」で学習している生徒の姿からは、単に知識を得るだけでなく、憧れを抱き、その生き方や価値観を変化させるきっかけとなっていることが伝わってきました。また、「自分で学び取った内容を他の人に伝える」という体験を意図的に位置付けたことにより、喜びや自信につながったり、より広く深い探究への意欲を生んだりするきっかけとなっています。

②根尾への愛着と誇りを高め、持続可能な根尾の未来を創り出す「ふるさと科」

根尾の過去や現在を知り、活力ある未来をめざして行動する力を育てるために、自然や歴史、文化をはじめ、郷土の宝物について、ふるさとを知り、学び、それを発信します。また、地域との交流も大切にし、幼稚園と連携したり、オカリナの演奏で感謝の気持ちを伝えたりしています。

③生きて働くコミュニケーション能力を培う「外国語活動・英語教育」

少人数を生かし、ALTとのコミュニケーションの機会が多く、9年間学びが連続することにより「聞く/話す/読む/書く」の4技能をバランスよく伸ばせる根尾学園の強みを生かし、以下の活動を意図的に位置付けています。

- ・ 壱岐（長崎）・釧路（北海道）・海外等をオンラインで結ぶ交流学习
- ・ 英語を用いた淡墨桜観光ガイド
- ・ All English Days の実施



④心と体を鍛える「げんきタイム」

幼稚園から岐阜大学春日教授によるアクティブチャイルドプログラム（ACP）の継続的な指導を受け、運動遊びを通して、基礎体力・運動能力・非認知能力を育成しています。

4 おわりに

実際に活動する中で思い描いた以上の成果が見られたものがありました。それらをしっかりと振り返り、成果を継続させるとともに、市内の他校へ広げていきます。さらに今年度の課題を明らかにし、改善策をじっくり練り、真に子どもたちの力になる活動にさらに発展していきます。